

2024年度 安全報告書



2025年9月 報告

1. ごあいさつ

平素より大井川鐵道をご利用いただきまして誠に有難うございます。また、地域の皆様をはじめ関係の皆様には、当社事業につきまして日頃より格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年11月28日に発生させた列車分離の重大インシデントにつきまして、改めて深くお詫び申し上げます

さて、2024年度におきまして、大きな事故、災害等もなく順調に運行を継続することができました。これもひとえに、お客様をはじめ、関係者の皆様からの温かいご支援とご協力の賜物と、心より感謝しております。

当社は、2023年11月28日のこの重大な事態を真摯に受け止め、二度と同様の事故を起こさない決意のもと、全社一丸となり、安全確保を最優先に取り組んでおります。今後も皆様に安心してご利用いただける鉄道を目指し、社員一同、安全意識の向上に努めてまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、大井川鐵道における2024年度の輸送の安全確保への取り組みや、事故等の発生状況、再発防止策についてまとめたものです。皆さまに広くご理解をいただくために作成いたしました。

ご利用になる全てのお客様と沿線にお住まいの方々にご理解をいただくと共に、本報告書をご覧いただく中で、皆さまからの貴重なご意見を今後の安全輸送に役立てたいと考えております。



大井川鐵道株式会社
代表取締役社長 鳥塚 亮

2. 基本方針と安全目標

1. 基本方針

当社は、安全第一の意識をもって輸送の安全を確保するための管理の方針、その他事業活動に関する基本的な方針を定め、安全の確保に関する業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じて見直します。

なお、次のように「行動規範」を掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり推測に頼らず、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めます。

2. 安全目標

「鉄道運転事故ゼロ」



3. 2024 年度 安全重点施策

安全性向上および安全目標を達成するため、安全管理規程に基づいて策定した2024年度安全重点施策を以下のように取り組みました。

- ・労働災害軽減指導の実施

安全衛生委員会実施時等に注意喚起を行うと共に労働災害防止対策についての検討を行いました。2025年度も労働災害軽減の為の指導を強化いたします。

- ・ヒヤリハット報告の環境づくり

毎月開催する鉄道管理会議において各職場からの聴き取り調査を行い、同日開催される安全衛生委員会にてヒヤリハット事象の有無や、その内容報告と再発防止策を検討しました。2025年度も職場長から報告を受けたヒヤリハットの内容を踏まえ、安全衛生委員会でその内容を再度確認し、労働災害につながる可能性や再発防止策を検討してまいります。

2023年に発生した列車分離の事象は、弊社にとって安全運行の根幹を再確認する重大な教訓となりました。この事象を風化させず、今後の安全対策の礎とするため、3つの徹底事項を周知、徹底しました。

- ・入換打合せの徹底

作業開始前には、関係者全員が参加する入換打合せを徹底し、作業内容、手順、各自の役割を明確に共有することで安全に作業を行うことができました。

- ・車両入換における憶測による作業の厳禁

打合せで確認した内容「わかっているだろう」と憶測し、重要な情報を共有しないまま作業を開始したり、慣れにより定められた確認や手順を省略し「だろう」という憶測をなくすことを徹底しました。

- ・連結状態確認の徹底

連結時、2名の作業員による相互確認を実施し、確認作業の確実性を高めるために、確認項目を一つずつ実行し、完了した項目にチェックを入れ、最終的に署名することで確認の責任を明確化します。

- ・年3回の出庫点検立会いと列車添乗指導

教導運転士が始発前の出庫点検と列車運転添乗指導を行い、点検箇所の把握、点検順序、操作・確認事項、列車運転時の指差確認喚呼、沿線注意箇所の把握、速度、ブレーキの基本操作の徹底が適切になされているか見極め、安全運行に努めています。

- ・列車進入時ホームの安全確認、旅客の安全な誘導案内の完全実施

駅における安全対策を常に強化しています。列車進入時には、駅員がホーム上の安全を確実に確認し、お客様に安心してご利用いただくための丁寧な誘導案内を徹底します。

これからもお客様が快適にご利用いただける環境を維持するため、安全へのたゆまぬ努力を続けてまいります。

- ・車両故障の低減、故障個所の把握

故障が発生する前に、定期的な点検や部品交換を行い、過去の故障履歴を詳細に分析し、「いつ」「どこで」「どのような故障が」発生したかを把握しています。このデータから、特定の機器、部品、または運用環境に故障が集中している傾向を発見し、重点的な対策を講じています。

- ・線路巡視、検査点検強化

線路の徒歩巡回間隔を短縮し、落石、倒木等の異常の早期発見と対策が可能となりました。

4. 2024 年度事故等の発生件数

1. 鉄道運転事故

2024 年度は、鉄道運転事故は発生しておりません。

なお、過去 3 年間の鉄道運転事故の発生件数と負傷者、死亡者数の推移は、次の通りです。

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
事故件数	1	0	0
負傷者	1	0	0
死亡者	0	0	0

2. 輸送障害（30 分以上の遅延や運休）

大井川本線	設備故障（信号、線路）	3 件
	自然災害（倒木、落石）	3 件
	車両故障	3 件
	雨量規制	1 件
	落雷	1 件
	動物衝突	1 件
井 川 線	自然災害（倒木、落石）	8 件
	雨量規制	1 件

設備、車両の点検強化・線路巡視の強化・法面の点検および計画的な危険木の除去を行い、安全運行に努めてまいります。

主な輸送障害

2024 年 7 月 16 日	大井川本線	門出駅～神尾駅間	倒木
2024 年 8 月 10 日	井 川 線	川根両国駅～沢間駅間	倒木
2024 年 8 月 27 日	大井川本線	全 線	大雨による雨量規制
2024 年 10 月 4 日	井 川 線	奥泉駅～アプトいちしろ駅間	落石

3. インシデント（事故の兆候）

2024 年度は大井川本線、井川線ともインシデントは発生しませんでした。

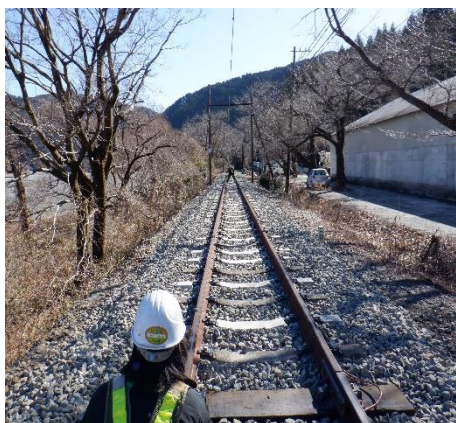
これからも、安全運行を第一に、皆様に愛される鉄道であり続けるよう努めてまいります。

5. 輸送の安全確保のための取組み

1. 整備事業等の実施

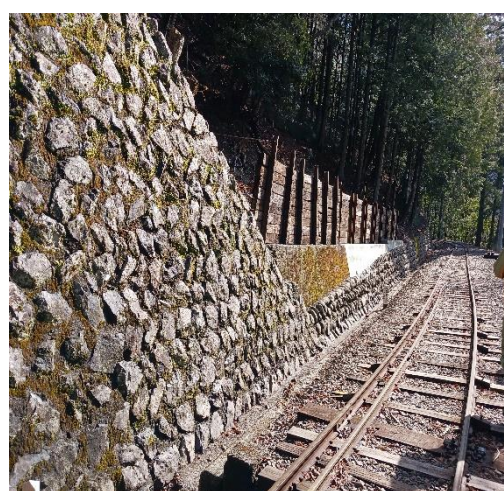
【大井川本線】

- ・ 法面補強工事 （門出駅～神尾駅間）
- ・ レール重軌条化 （福用駅～大和田駅間）
- ・ 枕木PC化 （福用駅～大和田駅間）



【井川線】

- ・ 土砂留め網設置（奥大井湖上駅～
接岨峡温泉駅間）
- ・ 落石防護レール柵設置（閑蔵駅～
井川駅間）



2. 経営幹部による職場巡視

年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施期間中に、会社幹部による各職場の巡視を行い、安全輸送に関する訓示を行うとともに、職員への安全意識の高揚に努めました。



3. 鉄道管理会議の実施

毎月1回、運輸部門、施設部門、営業部門合同による作業計画、営業計画の確認、当社で起きた輸送障害などが発生した場合の各現場部署の対応を検証し、再発防止策、事象が起こった原因究明を図っています。

特に繁忙期の前やイベント等の計画時には、輸送の安全に留意して綿密に打ち合わせを行っております。



4. 教育訓練

年間計画に従い、各部署ごとに訓練、研修を行い、安全意識の向上を図っております。

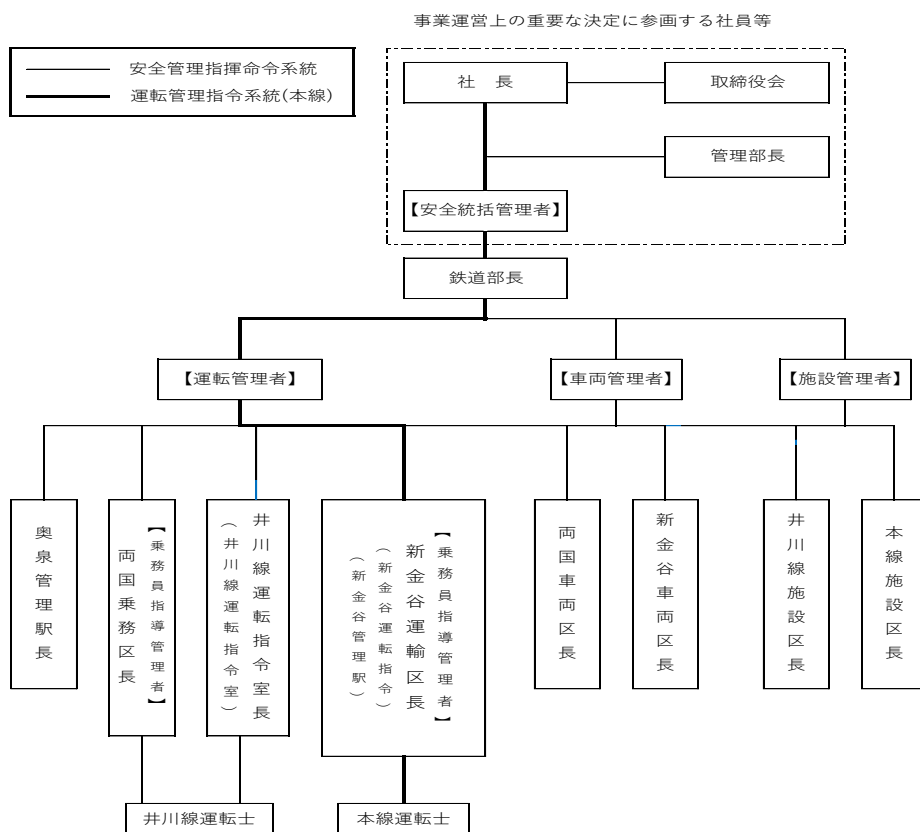


6. 当社の安全管理体制

2006 年 10 月に安全管理規定を策定し、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で各管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っています。

役 職	役 割
社 長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な予算計画、要員に関する事項および交通施策に関する事項を統括する。
鉄道部長	安全統括管理者の命を受け、輸送の安全に関する業務を管理する。
南アルプスセンター長	鉄道部長の命を受け、井川線における輸送の安全の確保に関する業務を管理する。
【運転管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
新金谷運輸区長および 両国乗務区長 【乗務員指導管理者】	運転管理者指導の下、所属する乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
【施設管理者】	安全統括管理者の指揮の下、土木施設および電気施設に関する事項を統括する。
【車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

安全の確保に関する体制ならびに運転の管理に係る体制および指揮命令系統



7. 沿線の皆さまへのお願い

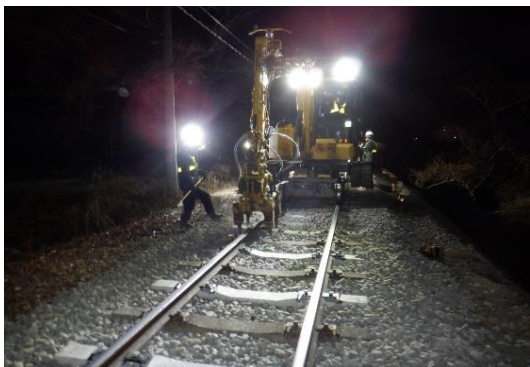
1. 踏切事故防止について



踏切では必ず一旦停止して左右の安全を確かめてください。また、警報機が鳴ったら踏切内に進入しないでください。万が一、車が踏切内に閉じ込められたときは、車で遮断竿を押して脱出してください。

踏切およびその付近で異常を発見した場合は、踏切非常ボタンを押していただくか、警報機に取り付けてあります緊急連絡先まで、ご連絡下さいますようお願いいたします。

2. 夜間作業のお願いについて



鉄道工事は、安全を確保するために夜間作業となることがあります。沿線の皆様にはご迷惑をおかけすることがございますが、可能な限り静かに、短期間に行うよう努めてまいります。何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒428-8503 静岡県島田市金谷東2丁目1112番地の2

大井川鐵道株式会社 鉄道部

・電話 0547-45-4113

・FAX 0547-45-4115

(月～金 9:00～17:00、年末年始を除く)

・メール unyu@oigawa-railway.co.jp

・Web サイト <http://oigawa-railway.co.jp/>

